

「都構想 否決された」

持ち出す
非常識!

「ぼくの提案 間違っていた」

(橋下市長)

橋下市長は、住民投票で敗れた直後の記者会見の第一声、「大阪都構想、やっぱり間違っていたということになるんでしょうね。」と言い、「政界引退」も表明しました。

都構想 否決



住民投票は一回だけ

——くり返し言明していた橋下市長

- 何度もやるものではない。一回限り(5月7日)
- (住民投票は) 最初で最後のチャンス(5月7日)
- このワンチャンスだけ(テレビコマーシャル)

1	2
3	4

今が大阪の問題を解決する「最後のチャンス」です。二度目の住民投票の予定はありません。

大阪維新の会HPより(10月15日現在)



とんでもない!

「過去に戻すか、前に進めるか」(維新)は、市民がストップかけた都構想を復活させるため

維新は「過去に戻すか、前に進めるか」と宣伝しています。かつて「職員厚遇」問題がありましたが、市民はそんなことは許さない世論を作っています。こけおどしです!
今、問われているのは、市民がストップをかけた「都構想」の議論に再び戻すのか、それとも大阪市をつぶす「都構想」を退場させ、対話と協調による新しい大阪市をつくるのかです。

「身を切る改革」どころか税金にドブクリ 維新

自らの野望のために、市民の税金使い放題?!

「大阪都」の設計図づくりと住民投票に32億円も税金が使われ、再び「都構想」を持ち出すことに「多大な税金と時間、労力が使われたのに、結果に背を向けたさらなる出費は市民の理解や賛同は得られないだろう」(朝日新聞)との指摘が掲載されています。

税金(政務活動費)の不正使用がゾロゾロ

「高級自動車のローンに支出」「架空のチラシの配布に支出」など維新の大阪府・市・堺市会議員の政務活動費の不正が繰り返し明らかになっています。



税金で飲み食い?! (日刊ゲンダイ)

「政党助成金で飲み食いしておきながら、橋下新党が『身を切る改革』を掲げるとはブラックジョークだ。」(日刊ゲンダイ)と批判されるのは、前国対委員長の馬場伸幸衆院議員。

毎月300万円もの党のカネを使って、連日連夜、飲めや歌えやのドンチャン騒ぎをしていたと報道されています。これの原資は国民が納めた税金です。

